

令和7年11月21日

令和7年度第8回定例松本市教育委員会

会 議 議 案

松本市教育委員会

令和7年度第8回定例松本市教育委員会付議案件

[議案]

- 追加 第1号 松本市学校給食センター運営委員会への諮問について【非公開】
- 第2号 松本市立小学校、中学校施設の開放に係る運用方法の見直しについて【非公開】

[報告]

- 第1号 令和7年松本市議会第3回臨時会の結果について
- 第2号 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果概要と考察について
- 第3号 重要文化財旧松本高等学校本館及び講堂保存活用計画の見直し方針について

[周知]

- 1 年末年始期間における貸出冊数の変更について

[その他]

教育委員会資料
7. 11. 21
教育政策課

報告第 1 号

令和7年松本市議会第3回臨時会の結果について

1 趣旨

松本市議会第3回臨時会の結果について報告するものです。

2 会期等について

11月4日（火） 1日間

経済文教委員会 11月4日（火）

3 審査内容及び結果

(1) 経済文教委員会審査

ア 議案第4号 市有財産の取得について（（仮称）松本市第一学校給食センター用地）

（仮称）松本市第一学校給食センター用地を取得するもの

イ 議案第5号 倒木事故に関する和解について

アルピコ交通上高地線軌道内において発生した倒木事故について、相手方と和解するもの

(2) 委員からの主な意見等

ア 議案第4号について、買収単価の算出根拠について質疑があり、理事者からは、不動産鑑定業務により、市街地からの距離、近隣における開発行為の経過等を踏まえ、宅地としての見込み地であるかなどの結果を基に、建設部で算出したと答弁しました。

イ 議案第5号について、財源について質疑があり、理事者からは全国市長会学校災害保険は自然災害の場合、対象にはならないため、全額松本市の負担であると答弁しました。

(3) 集約結果

議案2件は、異議なく原案どおり可決されました。



担当	教育政策課
課長	小西 えみ
電話	33-3980

報告第 2 号

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果概要と考察について

1 趣旨

令和7年4月14日(月)～17日(木)に松本市立小中学校が実施した「全国学力・学習状況調査」について、調査結果概要と考察を取りまとめましたので、報告するものです。

2 経過

R7. 8. 21 第5回教育委員研究会で、「全国学力・学習状況調査(松本市)」速報値を報告

29 第2回学力調査検討委員会で、市全体の結果及び各校における授業改善・充実の重点を共有

10. 上旬 学力調査検討委員による公表案の検討・修正

3 調査結果概要と考察

別紙のとおり

4 今後の予定

11. 25 松本市ホームページ上にて公開及び市内小中学校へ資料を送付

担当 学校教育課 学校支援室
教育監兼学校支援室長 山名 博夫
電話 33-4397

令和7年度 全国学力・学習状況調査 松本市立小中学校における結果概要と考察

調査概要

- ◇調査対象：小学校第6学年、中学校第3学年
- ◇調査実施日：令和7年(2025年)4月14日(月)～17日(木)
- ◇調査内容：1. 教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)
2. 学習状況等に関する質問調査(児童質問調査、生徒質問調査、学校質問調査)

教科に関する調査結果

- ◇平均正答率：・小学校…国語・理科が全国をやや上回り、算数は全国と同程度である。
・中学校…国語・理科が全国を上回り、数学はやや上回った。
※全国との差が1ポイント未満の場合は「やや上回る(やや下回る)」、差が1ポイント以上の場合は「上回る(下回る)」としました。
- ◇正答率の割合：・正答率4割以下の児童生徒の割合は、全教科で全国より少ない。
※特に中学校国語・理科では、全国より5ポイント以上少ない。
・正答率8割以上の児童生徒の割合は、全国と同程度又は少ない。
※小学校理科と中学校国語が全国と同程度だったが、他の4教科は少ない。

学習状況等に関する質問調査結果

- ◇質問調査の結果：・特徴的な結果は、本報告書の3頁以降に掲載した。

考察

- 平均正答率は小中学校ともに全国を上回り、この傾向は平成31年度以降続いています。正答率4割以下の児童生徒の割合が少ない状況であることから、学習が苦手な児童生徒に対する指導の成果が表れていると考えられます。
- 正答率8割以上の児童生徒の割合は、小中学校ともに少ない状況です。この要因の一つとして、学習が得意な児童生徒の伸びる力を一層伸ばすことが十分にできていないことが挙げられます。
- 中学校理科において、探究の過程に基づく活動(観察、実験の実施や計画立案、振り返りなど)が全国よりも活発で、平均正答率も高い状況は、調査結果から読み取れる特筆すべき点です。
- 総合的な学習の時間において、児童生徒が自分で課題を立てて情報を集め整理し、調べたことを発表する等の学習に取り組むことは、小中学校ともに学習指導要領改訂前(平成31年度)よりも大幅に改善しています。これは、探究的な学びの充実が図られている成果であると考えられます。
- 児童生徒の自己肯定感や幸福感等が高まっていることが考えられる一方で、学校生活や人間関係の満足度等に関しては課題が見られます。松本市子どもの権利に関する条例にうたわれている「すべての子どもにやさしいまち」の具現に向けた取組の充実が求められているのではないかと考えられます。

授業改善に向けて

全国学力・学習状況調査における松本市の小中学生の正答率は、全国と比較して同等あるいは高い傾向が示されました。これは、低位層が少ないことによるものと分析できます。また、上位層も少ない傾向であることも分かりました。上位層が少ないのは、長野県全体の傾向でもあります。

長野県の教員は、理解が遅い子どもの支援に力を入れて伸ばすことに重点を置く傾向があると言われています。しかしながら、「できる子どもは放っておいても自分で学ぶ」ととらえ、伸びる力を一層伸ばすことには注力しない傾向もあると言われています。

他県の中には、例えば算数で、早く問題を解いた子どもが難しい応用問題に挑戦できる機会を日常的に設けることで、子ども自ら「伸びる力をもっと伸ばそう」とする意欲を高める授業づくりを行っている県もあります。チャイムが鳴っても、難しい問題に挑戦し続ける姿が見られます。

松本市においても、「伸びる力を一層伸ばす」授業づくりが求められます。

公表の基本方針

- 調査結果を授業改善に活かすことを通して、児童生徒の学力の向上を図ることを目的としているため、教科に関する調査結果の具体的な数値は公表しておりません。
- 本調査は、育成する資質・能力の一部を調査したものであることにご留意ください。
- 学習状況等に関する質問調査結果については、児童生徒の回答状況を的確に把握するために、全国や長野県との比較や、経年変化を公表しています。

問い合わせ先 【部課名】 松本市教育委員会 学校教育課 学校支援室
 【連絡先】 電話：0263-33-4397

(1) 自己肯定感や幸福感等に関する状況

- ① 「自分には、よいところがあると思いますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに近年増加傾向にあります。
- ② 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに平成30年度よりも大幅に増加しています。
- ③ 「学校に行くのは楽しいと思いますか」との質問に「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、全国に比べて低い状況です。

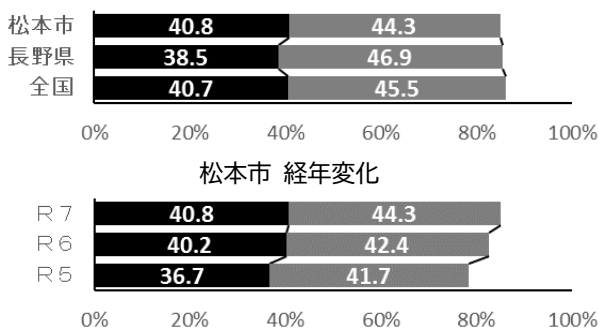
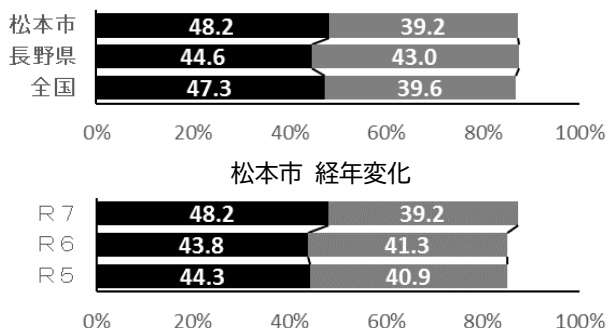
【凡例】 ■ 当てはまる・よくある等

■ どちらかといえば、当てはまる・ときどきある等

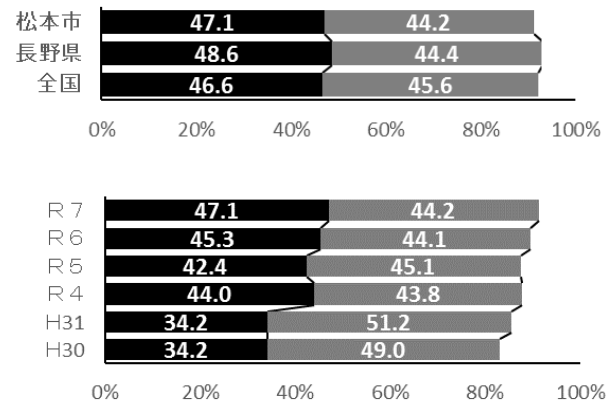
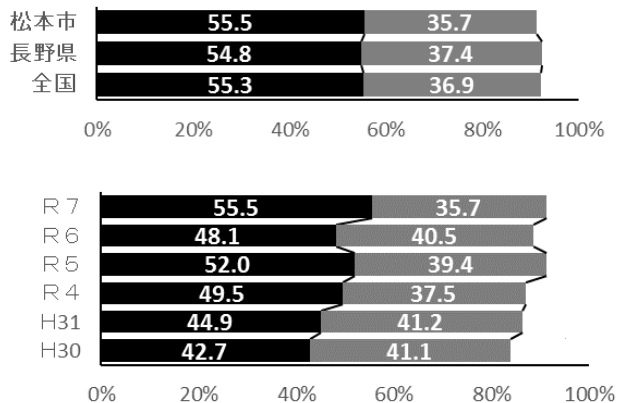
【小学校】

【中学校】

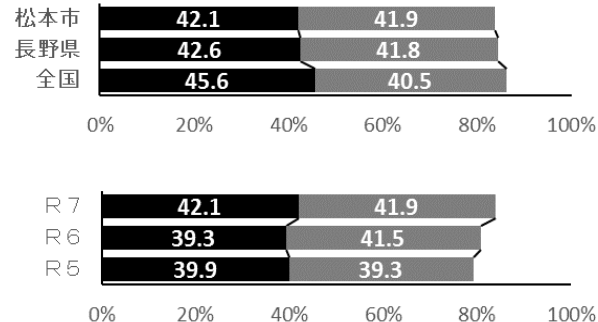
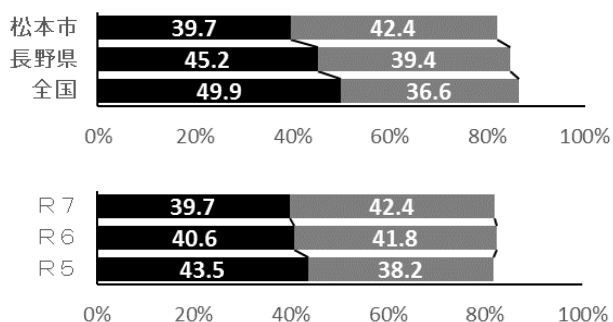
① 自分には、よいところがあると思いますか



② 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



③ 学校に行くのは楽しいと思いますか



(2) 他者との関わりや協働的な学びに関する状況

- ① 「友達関係に満足していますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに約9割で推移していますが、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は全国と比べても低い状況です。
- ② 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに9割を超えていますが、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は近年減少し、全国と比べても低い状況です。
- ③ 「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに9割を超えています。

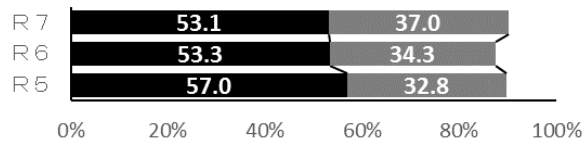
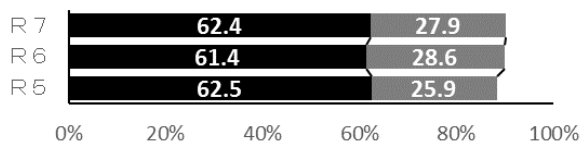
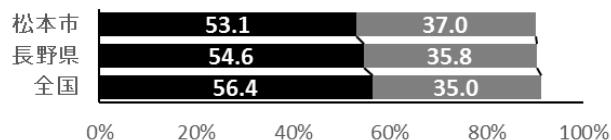
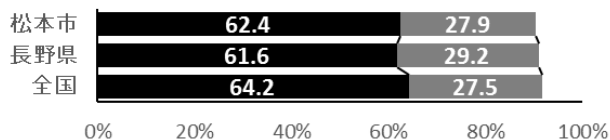
【凡例】 ■ 当てはまる・よくある等

■ どちらかといえば、当てはまる・ときどきある等

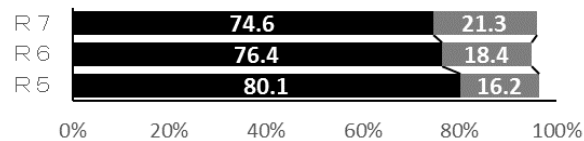
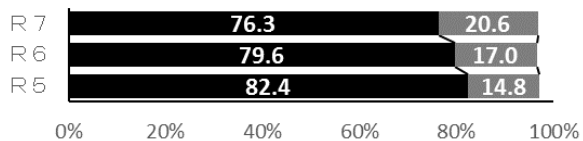
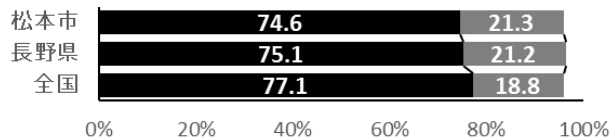
【小学校】

【中学校】

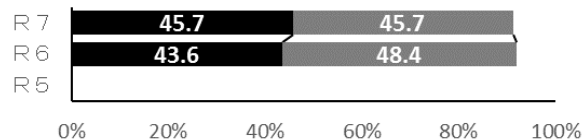
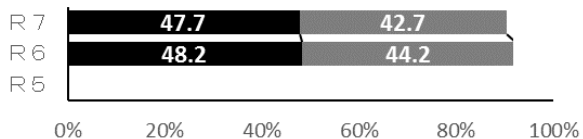
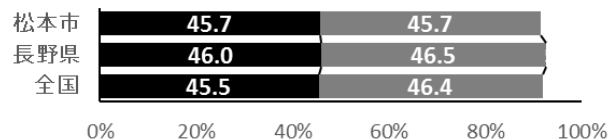
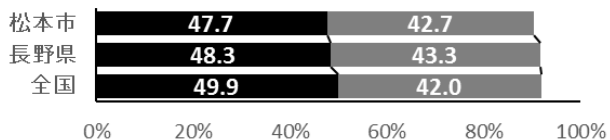
① 友達関係に満足していますか



② いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



③ 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか (R6～)



(3)主体的・対話的で深い学びの視点から

- ① 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに増加傾向で、学習指導要領改訂前の平成31年度と比べると大幅に増加しています。
- ② 「前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに8割前後で推移しています。
- ③ 「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」との質問に「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、近年減少しています。

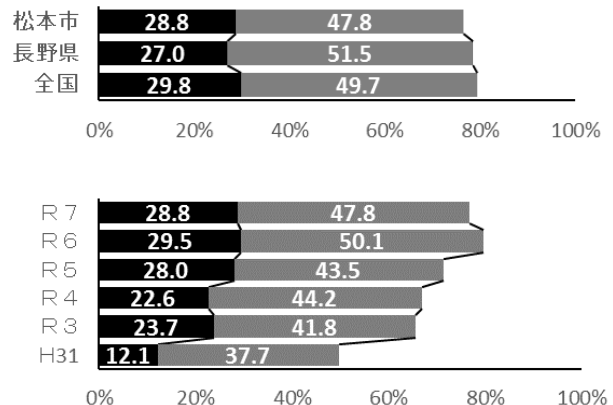
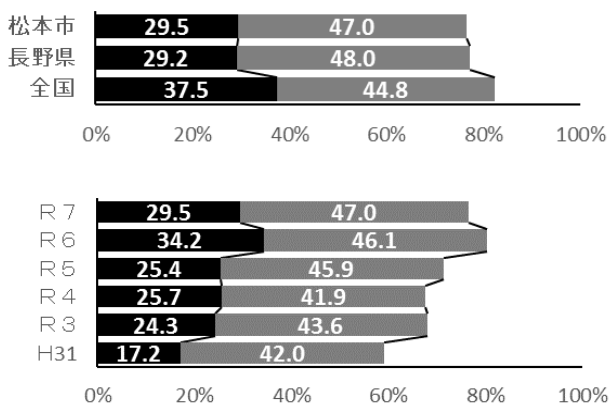
【凡例】 ■ 当てはまる・よくある等

■ どちらかといえば、当てはまる・ときどきある等

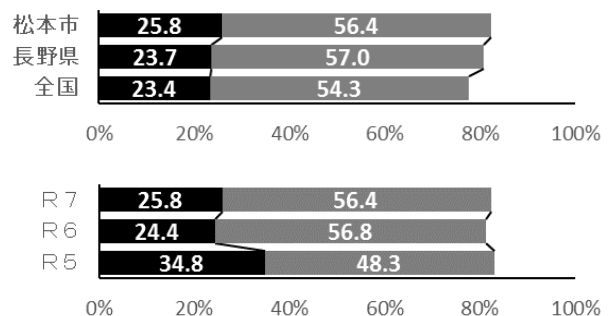
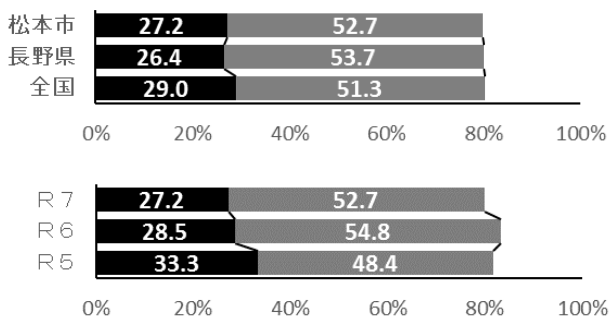
【小学校】

【中学校】

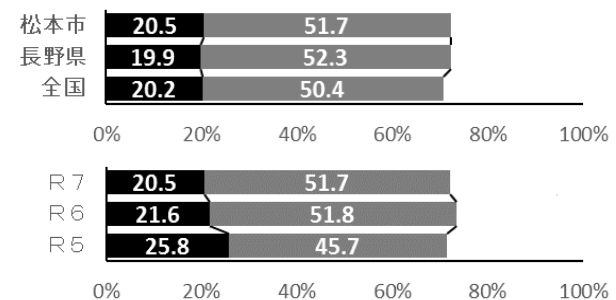
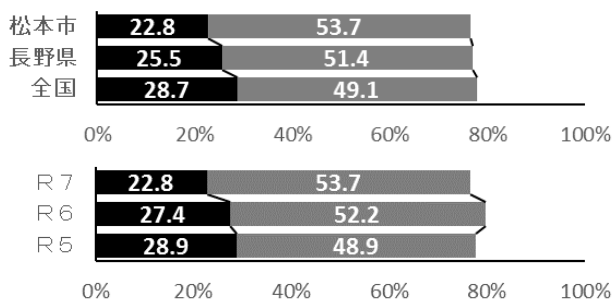
- ① 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



- ② 前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



- ③ 各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



(4) 国語に関する児童生徒の意識

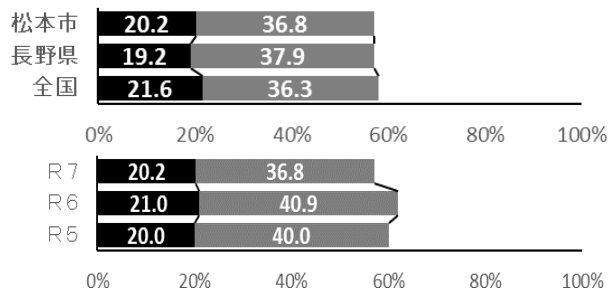
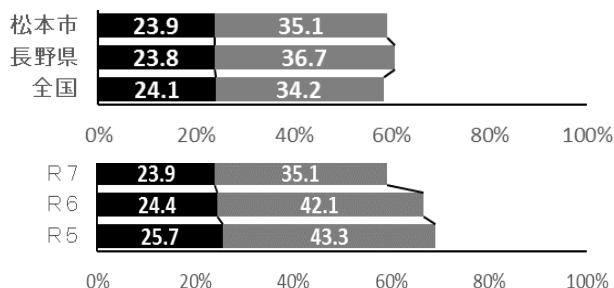
- ① 「国語の勉強は好きですか」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、令和5年度と比べると減少しています。
- ② 「国語の授業の内容はよく分かりますか」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、近年減少しています。
- ③ 国語の授業で文章を書くことに関する質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに全国より低い状況です。
- ④ 国語の授業で文章を読むことに関する質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに全国より低い状況です。

【凡例】 ■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる

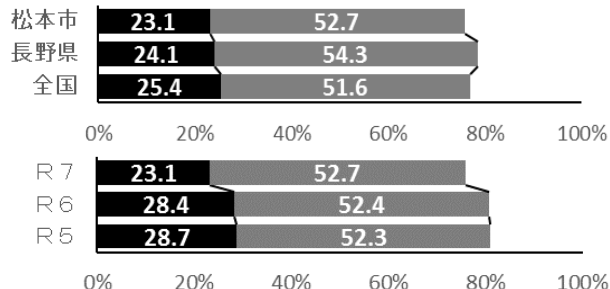
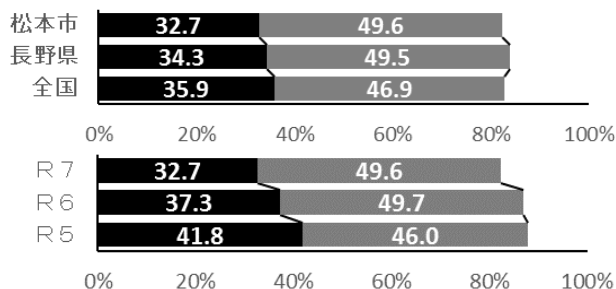
【小学校】

【中学校】

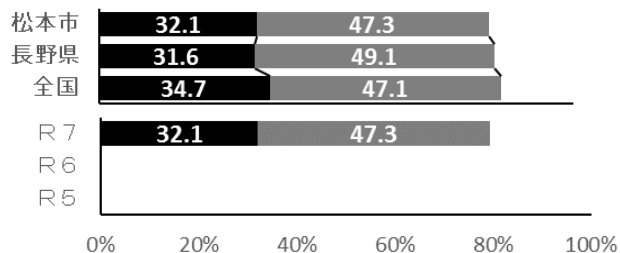
① 国語の勉強は好きですか



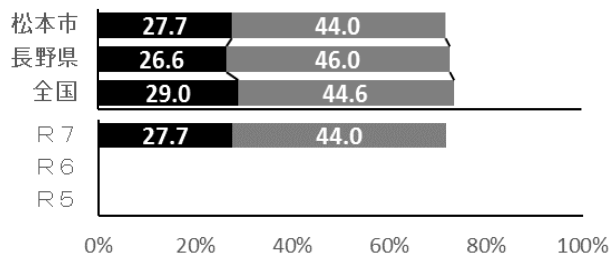
② 国語の授業の内容はよく分かりますか



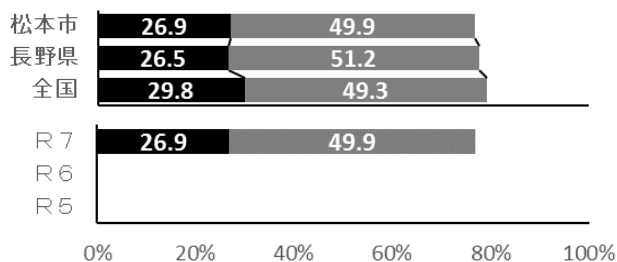
③ 国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか (R7～)



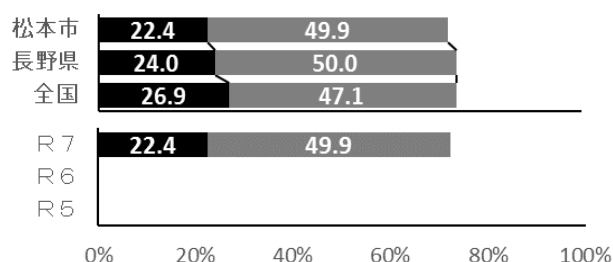
③ 国語の授業で、文章を書いた後に、読み手の立場に立って読み直し、語句の選び方や使い方、文や段落の長さ、語順などが適切かどうかを確かめて文章を整えていますか (R7～)



④ 国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけられていますか (R7～)



④ 国語の授業で、文章を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考えられていますか (R7～)



(5) 算数・数学に関する児童生徒の意識

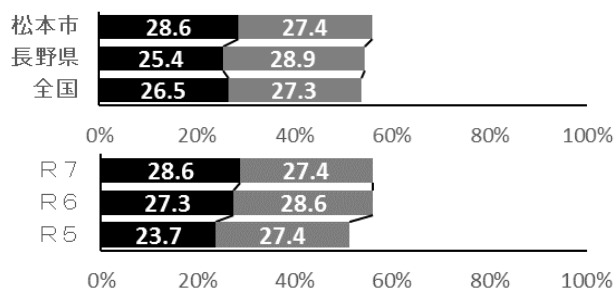
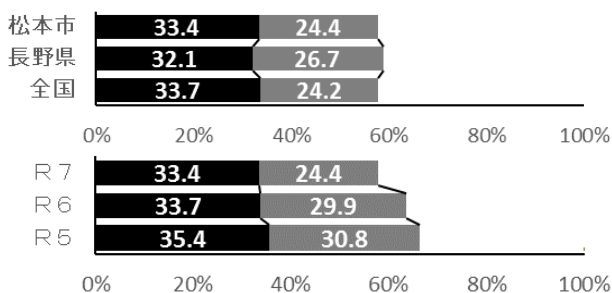
- ① 「算数・数学の勉強は好きですか」の質問に「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、小学校では近年減少し、中学校では近年増加しています。
- ② 「算数・数学の授業の内容はよく分かりますか」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに昨年度より減少しています。
- ③ 「算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに昨年度より減少しています。
- ④ 「算数・数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか」の質問に「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、小学校では全国より少なく、中学校では全国より多い状況です。

【凡例】 ■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる

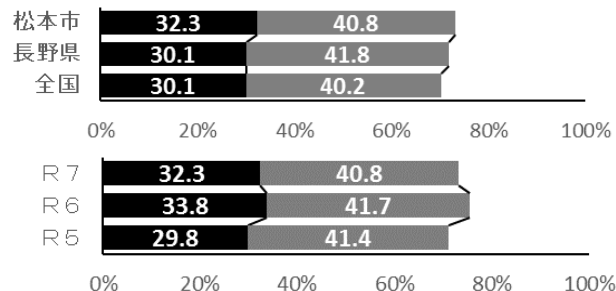
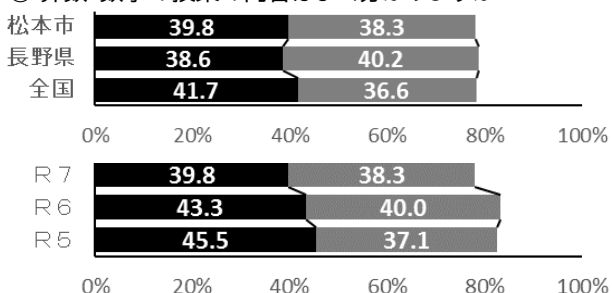
【小学校】

【中学校】

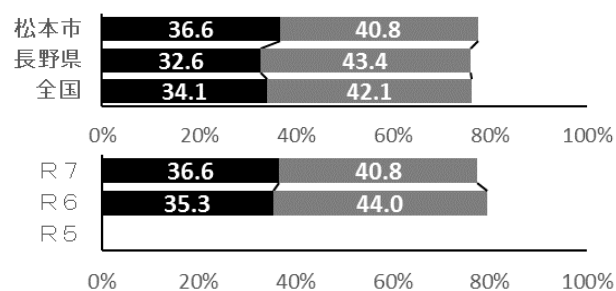
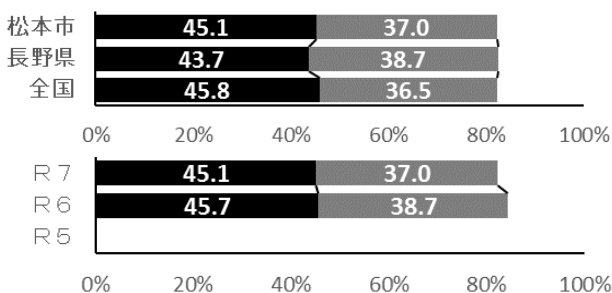
① 算数・数学の勉強は好きですか



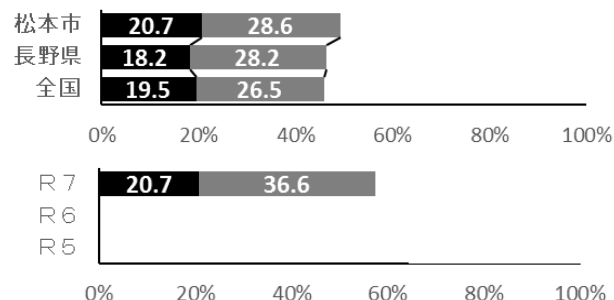
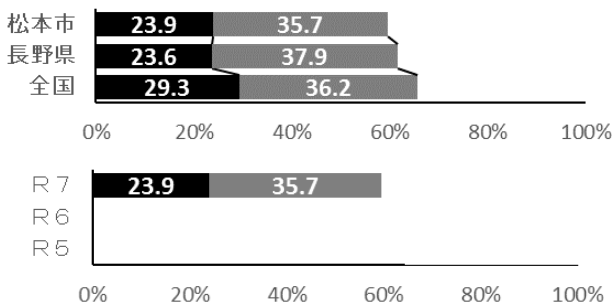
② 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか



③ 算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか（R6～）



④ 算数・数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか（R7～）



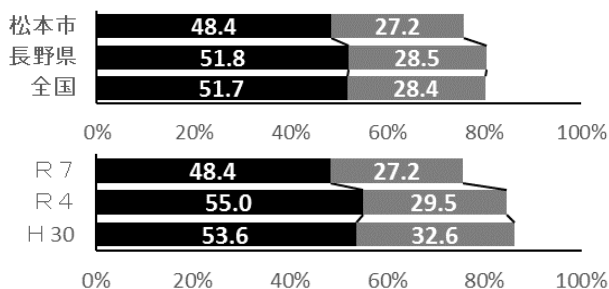
(6) 理科に関する児童生徒の意識

- ① 「理科の勉強は好きですか」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校では全国を下回り、中学校では全国を上回っています。
- ② 「理科の授業の内容はよく分かりますか」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校では全国を下回り、中学校では全国を上回っています。
- ③ 理科の問題解決・探究の過程に関する質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校では全国を下回り、中学校では全国を上回っています。
- ④ 理科の授業の振り返りに関する質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校では全国を下回り、中学校では全国を上回っています。

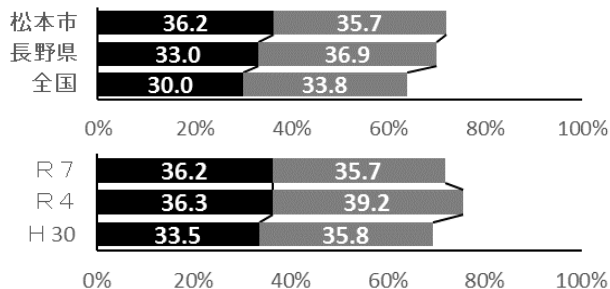
【凡例】 ■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる

【小学校】

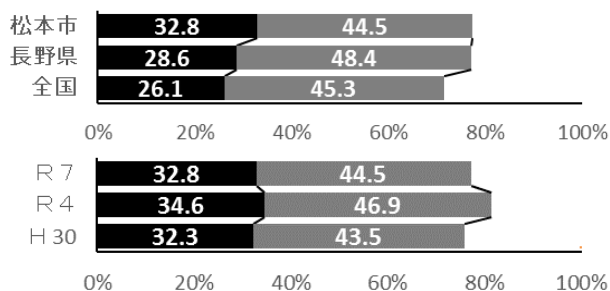
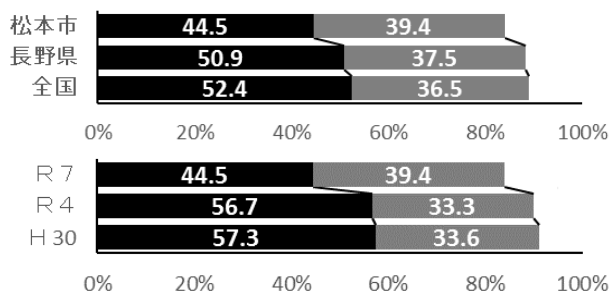
① 理科の勉強は好きですか



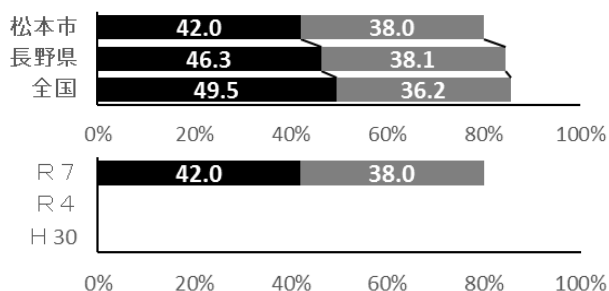
【中学校】



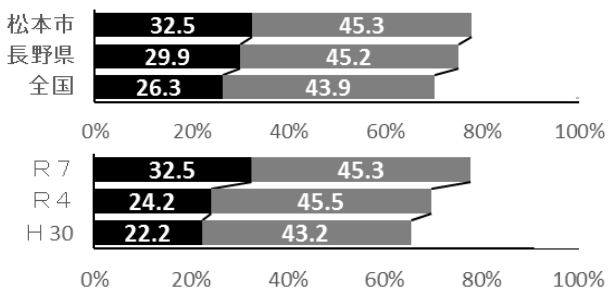
② 理科の授業の内容はよく分かりますか



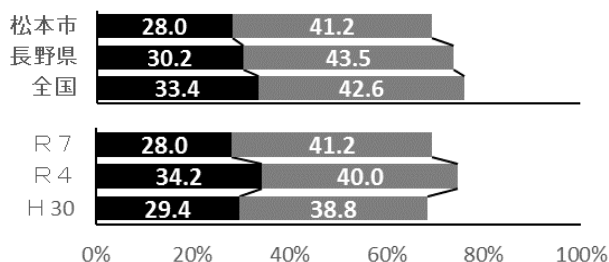
③ 理科の授業では、問題に対して答えがどのようなのか、自分で予想(仮説)を考えていますか



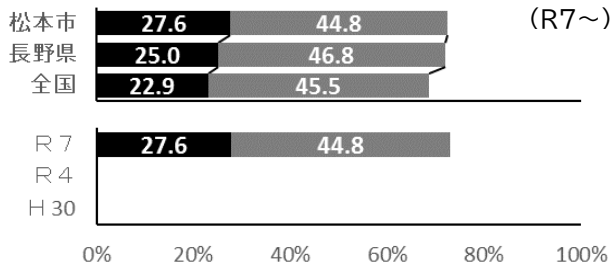
③ 理科の授業では、自分の予想(仮説)をもとに観察や実験の計画を立てていますか



④ 理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか



④ 理科の授業で、課題について観察や実験をして調べいく中で、自分や友達の学びが深まったか、あるいは、新たに調べたいことが見つかったか、振り返っていますか (R7~)



報告第 3 号

重要文化財旧松本高等学校本館及び講堂保存活用計画の見直し方針について

1 趣旨

重要文化財旧松本高等学校本館及び講堂保存活用計画（以下「保存活用計画」という。）に基づく耐震対策事業が令和6年度に完了したことを受け、今後のさらなる施設整備に向けた保存活用計画の見直し方針について文化庁等と協議しましたので、内容について報告するものです。

2 経過

H29. 3	保存活用計画策定
30. 6	耐震補強工事着工
R 6. 3	耐震補強工事完了
7. 3	耐震補強工事報告書作成、耐震対策事業完了
4 ~	今後の整備事業に向けて保存活用計画見直しを検討
7. 24	文化庁及び県と今後の整備事業について調整

3 文化庁の指導及び現状の施設課題

(1) 文化庁の主な指導

- ア 防災対策や建物保存修理等、緊急性の高い事業は保存活用計画に記載がなくても補助が可能
- イ 便益施設や展示スペースの整備等の公開活用事業は、保存活用計画に記載がないと補助は不可
- ウ 危険木、雨水排水溝、雨樋、外壁塗装への対策は緊急性があると認識

(2) 現状の施設課題とその対策（案）

別紙1、2のとおり

4 今後の取組方針

- (1) 保存活用計画への記載を要件とする補助事業は限定的（公開活用事業）なので、大規模な計画の見直しは行わず、必要な事業等の追記と文言の修正に留めます。
- (2) 保存活用計画に記載がなくても国の補助取込みが可能な事業については、保存活用計画への追記は行わず、個別の補助事業として着手します。特に緊急性が高いと指摘された危険木（ヒマラヤスギ等）の伐採、雨樋の改修、消防設備の整備については、関係課等と調整しながら早期実施を目指します。
- (3) 市民の生涯学習活動に資する冷暖房設備の整備については、喫緊の課題として引き続き早期整備を目指します。

5 当面の予定

- (1) 保存活用計画の見直し方針を庁議及び次期経済文教委員協議会へ報告します。
- (2) 今年度中に保存活用計画の見直しを完了し、令和8年度の文化庁受理を目指します。
- (3) 保存活用計画への記載が不要である補助事業については、緊急性の高い事業から順次着手します。

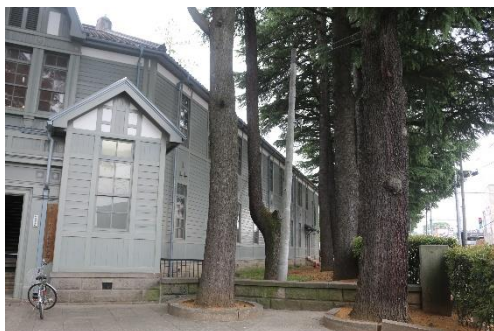
担当	生涯学習課
課長	廣田 圭男
電話	32-1132

今後実施が必要な整備		文化庁指導事項		
課題	改善内容	補助事業	緊急性	保存活用計画に記載
ヒマラヤスギが建物に近接	・危険木として伐採や剪定	防災	◎	不要
カラスの糞害対策	・ヒマラヤスギ伐採等周辺環境整備 ・剣山やカラスを追い払う機器を設置			不要
豪雨時に雨水排水溝が溢水する	・ヒマラヤスギ伐採等周辺環境整備 ・水路への排水管の径を拡張 ・排水経路を増やす		◎	不要
消防設備の経年劣化・屋外に未設置（防火水槽、消火栓等の新設）	・屋外に消火設備を新設 ・防火水槽、ポンプ等の更新・増設		○	記載済
屋内消火栓の易操作化	・既存屋内消火栓を易操作性消火栓へ更新		○	記載済
炎感知器の導入	・屋外に炎感知器新設		○	記載済
落雷対策の見直し（自動火災報知設備の故障防止）	・避雷針の更新 ・消防設備等を落雷から保護する設備を設置		○	記載済
外壁ペンキ塗装および漆喰の劣化	・雨樋の改修、雨仕舞改修 ・塗装改修 ・塗装の仕様の変更（ケレン掛け・下塗剤等）	保存修理	◎	記載済
屋根瓦の経年劣化	・瓦葺替 ・下地木材の腐朽部分修理			記載済
中庭に車両が進入できず屋根樋の定期清掃が実施できない	・高所作業車が進入できる中庭に整備	公開活用		要
窓ガラスの破損防止対策	・冷暖房器具の更新・増設 （窓ガラス・ガラスパテ・鍵・建具の保存修理）			要
冷房設備の未設置室が多い	・冷暖房器具の更新・増設			要
強制給排気（FF）式石油暖房機の見直し（オイルタンクが重文建造物に隣接、給油設備の経年劣化）	・電気式冷暖房器具へ切替 ・既存の灯油式暖房器具の廃止 ・地下タンク・オイルポンプ等の給油設備撤去			要
ポンプ室、倉庫等が重文建造物に近接	・既設建物の移設 ・複合便益施設の新設			要
展示の充実（公開部分の拡大）	・解説板、復元家具等の設置			要
講堂用トイレのユニバーサル化	・講堂東側に便益施設を新設、統合 ・既存建物の撤去			要
重文建造物の汚損防止のため飲食可能なスペース整備	・講堂東側に便益施設を新設し、整備			要
増加する見学者（外国人含む）への対応	・Wi-Fi環境整備（機器設置） ・多言語対応の解説アプリ・解説板の設置			要

重要文化財旧松本高等学校 整備事業

別紙 2

※整備事業の一部抜粋



1 危険木伐採

ヒマラヤスギなどが近接、
防災、建物保存（倒木・腐朽
防止）の点から整理必要

3-1 消防設備整備事業 消火活動・延焼防止のため 屋外に消火栓等設置

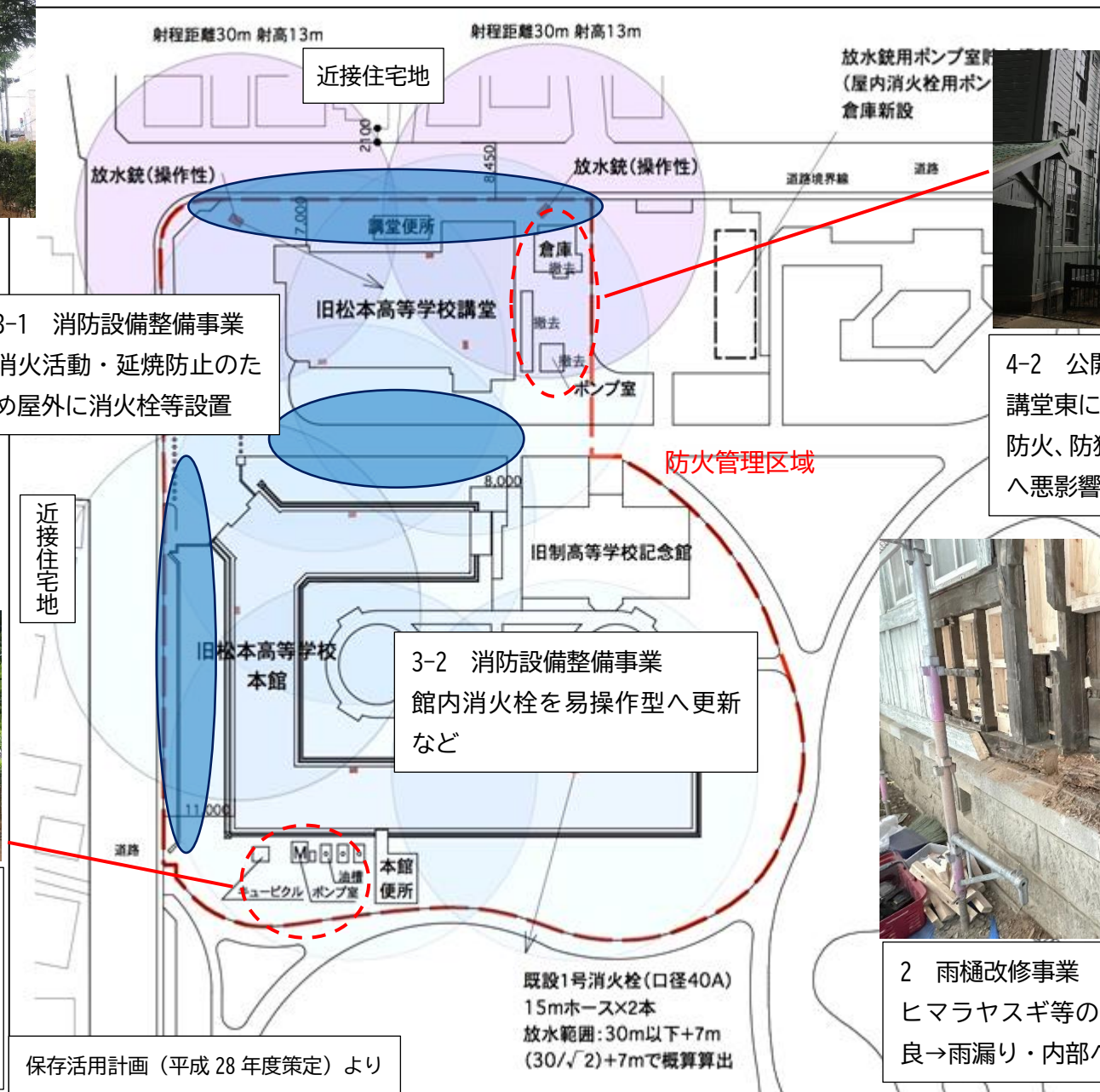
近接住宅地



4-1 公開活用整備事業

灯油供給設備、高圧受電設備が
建物に近接。火災・延焼のおそれ
があるが、防災事業ではなく公
開活用事業で実施

保存活用計画（平成 28 年度策定）より



4-2 公開活用整備事業

講堂東にオイルタンク、倉庫が近接。
防火、防犯、景観の点から木造建造物
へ悪影響



2 雨樋改修事業

ヒマラヤスギ等の落葉で雨樋詰まり→排水不
良→雨漏り・内部へ浸水→木部腐朽→建物損傷

周知事項 1

年末年始期間における貸出冊数の変更について

1 趣旨

令和3年度から実施している、年末年始等の長期休館中における貸出冊数の変更について、本年度も実施することについて周知するものです。

2 実施内容

(1) 年末年始休暇期間

令和7年12月29日（月）～令和8年1月3日（土）

(2) 貸出冊数を変更する期間

令和7年12月25日（木）から12月28日（日）の3日間

※26日（金）は第4金曜日のため全館休館

(3) 貸出冊数の変更内容

「貸出冊数10点まで」を「貸出冊数15点まで」に変更

(4) その他

ア 視聴覚資料の貸出点数5点まで、予約点数10点までの変更は行いません。

イ 実施期間の貸出の返却予定日 ※年末年始休館を除く14日間

貸出日	返却予定日	貸出日数
12月25日（木）	1月14日（水）	20日間
27日（土）	16日（金）	20日間
28日（日）	17日（土）	20日間

3 周知方法

館内掲示、チラシ、FMまつもと、市ホームページ、図書館ホームページ、SNS、広報まつもとで周知します。

